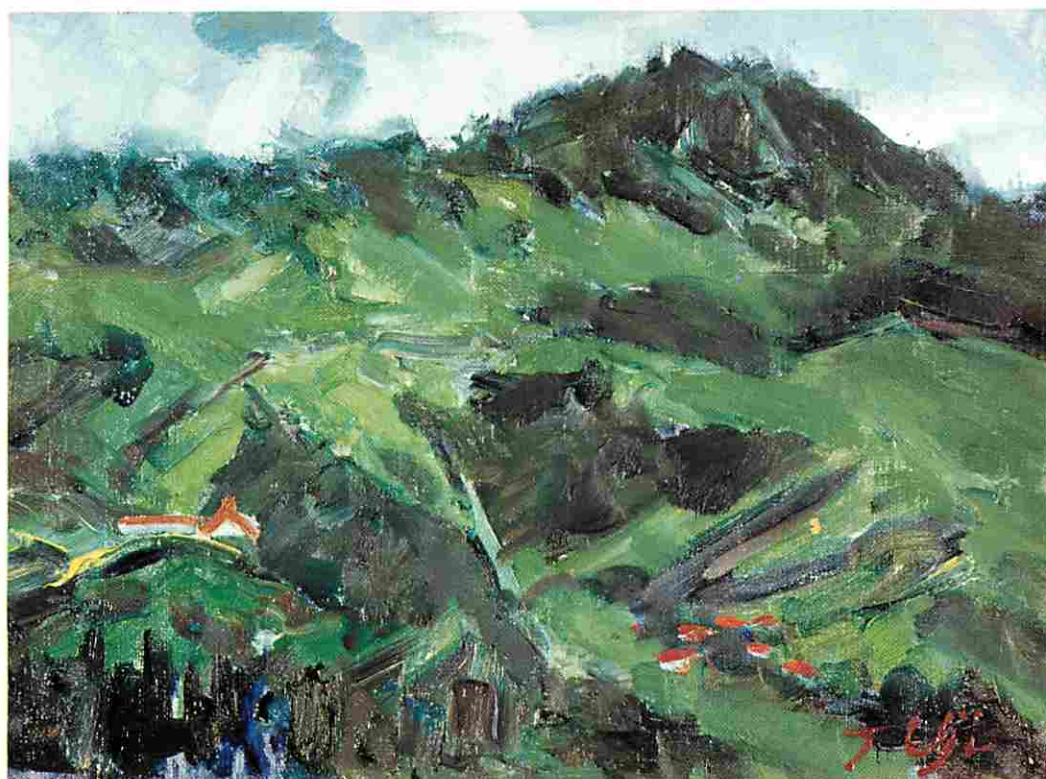


熊本市歯科医師会会誌

第 37 号



1981. 8

*
*
* 表 紙 の 言 葉 *
*
*
* 今回の絵は宇治寿康先生から頂き *
* ました。 *
* ゴルフをされる先生方の中には、 *
* 見覚えある景色だと思います。 *
*
*

目 次

応 接 室

元熊本市長 坂口 主税先生を悼む
学級洗口場の思い出

..... 日学歯顧問 栃 原 義 人 2

勉 強 部 屋

歯内療法における 2，3 の考察
田窪雅宣先生講演より

..... 学術担当理事 添 島 義 和 3

展 望 室

体力づくり随想 8
幼児体育随想

..... 熊本女子大学名誉教授 伊 藤 基 記 11

茶 の 間

未来はバラ色？ I C王国

..... 日本経済新聞 熊本支局 布施谷 明 人 15

本 日 休 診

その後のグリーンカード制度と換物運動について

..... 三洋証券KK 財務相談室長 磯 野 雅 一 18

委 員 会 活 動

昭和56年度第30回 母と子の良い歯のコンクール

..... 口腔衛生委員 寺 脇 博 20

作 業 部 屋

総 会 報 告 22

告 知 板

新入会員紹介 40



故坂口元市長

応 接 室



元熊本市長坂口主税先生を悼む

学級洗口場の思い出

日学歯顧問 枋 原 義 人

昭和56年4月27日、元熊本市長坂口主税氏82才が逝去された。坂口先生は、昭和27年に熊本市助役に就任され、更に31年から38年1月まで第17, 18代の熊本市長を務められた。その期間内に35年に現熊本城天主閣の復元と第15回国体開催。37年に熊本博覧会などの大事業を完遂された。そして、お酒好きで、大黒様のような風ぼうで市民に親まれた立派な政治家であった。

たまたま、昭和33年11月5日午前の夜半、元県立女子師範学校跡の熊本市立城東小学校の旧木造校舎が少年放火魔のために講堂1棟を残して全焼し、同35年その跡に現在の鉄筋本建築校舎が竣工した。よって、当時、同校の学校歯科医であった私は、校舎新築を機会に、もともと坂口市長とは患者関係もあり親しかったので強引に進言し、私の設計により施設されたのが現在の城東小の学級洗口場である。その後、学級洗口場は、昭和45年に1回増設完備され爾来、給食後の全校生徒の一斉の歯みがきを含む一連の歯科保健活動により、洗口場の機能は毎日完璧に活用され、私の念願は充分達成され今日に至っている。

これに伴ない私の県学歯会長時代、昭和42年度から県学校歯科保健研究委嘱校（県下に2校。期限2年）の行事を数年続け実施したことがある。その時、必ず体験させられたことは、研究校第1年目は、いつも洗口場の施設作りに気を取られて、実際の活動は実行し得なかったのが常であった。即ち、洗口場の施設なしでは、集団的歯科保健指導は実施し得ないことを強く感じさせられたことだった。

さて、小学校における洗口場の全国的普及は私の多年の強い願望であったが、城東小の学級洗口場などが刺戟となって、やっと昭和53年、文部省は学校建築基準の中に洗口場設置を指示するに至ったのは喜びに堪えない。昭和54年度、城東小は遅れ馳せながら学校歯科保健のノーベル賞とも言える奥村賞に輝いた。

かくて、私は、城東小の元祖的存在である、この学級洗口場の生い立ちを追想する毎に故坂口主税元市長の恩情と寛容が深く偲ばれる。亡き先生のご仁徳とご功績をたたえ謹んで、心からご冥福をお祈り申上げる次第である。合掌。

（1981年4月28日 枋原義人86才稿）



歯内療法における 2・3の考察

田窪雅宣先生講演より

学術担当理事 添 島 義 和

歯内療法は歯科医療行為中基本的なものであり重要であるが、その割に苦勞が多く深く熱心にやればやる程奥の深いもので、又報われることの少ないものである。しかし日常歯内療法に関して自信がなければ診療に対し、疑心暗鬼で成功はありえないであろう。

◎ 日常臨床における歯内療法の三層

1. 診 断
2. 根管形成
3. 根管充填

これら3要素が適格に精緻でなければ失敗におわり成功はありえない。

◎ 歯科臨床の三層

1. 歯内療法
2. 歯周組織の問題
3. 補綴、咬合の問題

これらは歯科における三本柱でありその他に矯正、口腔外科と色々要素はあるが、それらは専門的な分野であり、その最も基本的なものは上記の3要素であり、どれ一つ欠けても我々の歯科臨床は成功から遠ざかってしまうであろう。

色々なケースを通して次の事柄を問題として提起してみたい。

◎ エンドがなされていないと同様な雑治療、これは歯科医が職業人として社会から認識、尊敬、尊重されるためには、歯内療法を「シナイ」ような治療効果では患者から、又社会からの認知、尊敬はありえない。

◎ ポーセレンもペリオも良い処置がなされていても術後1, 2年で急性の症状が出た場合。いくら良い補綴をしても術後1, 2年で急性炎症を起こしては患者から不信感をもたれる、エンドはやはり基礎的で大切なものである。何かの感染があったのではないかと思われるが、結果はこの様で後の処置としては外科的に逆根充のケースではなかろうか。

◎ 歯内療法の基礎

使用したことはないが水酸化カルシウム製剤の糊剤根充剤がもっと進歩して簡単で確実な根充が出来ることを期待している。現在ではカッターパーチャーとシーラーの根充法で、専門家ではないがとにかく根尖の根端孔を機械的に封鎖することが大切である。それにより根尖部附近の組織の治療をはかるのが目的である。それは瘢痕治療でなく骨性治療でなければならない。1本の小さな残根でも義歯に於いてはとくに間接維持装置として強力なサポートを発揮できる事実に着目してもらい

たい。その為にはやはり歯内療法が基礎である。

◎ 歯内療法の成功、失敗率について

九大の永沢教授の統計ではその成功率は、抜髄例で72.9%、感染根管例では88.8%で、あきらかに抜髄例のほうが成功率は低く失敗率が高い。感染根管の成功率はるかに良い成績である。いろいろな統計をみても大体成功率が75%~よくて95%というのが世界的な統計である。2, 3年の経過で成功率95%~100%という予後はあまりにも偏見的なもので、本当の経過は10年位予後が良好でなければ成功と云えず、一般の臨床家では100%の成功率は少し無理でも、やはり失敗をなくすことに全力を投入する考えが必要である。

成功例、失敗例といえ患者の抵抗力、歯牙の形態、歯根の状態などいろいろな条件が異なり、いちがいにコントロールされて言えないが、その種々の要素を考えると我々のテクニックは厳密なうえにも厳密さが必要である。病変のある歯牙を治せるテクニックをもった歯科医が抜髄後に、その歯牙に病変を作ることの認識しなければなりません。病変を作った歯牙や患者に手遅れであると云える程の大きなカリエスの歯牙はあとで予後が悪くても説明がつくが、ブリッジの支台のため必要上抜髄をした場合に病変をつくれば患者固体の責任はなく、医原性の疾患であると言われても説明のしようがない。だから抜髄の方が不安定で難度が高いと思われる。

◎ 根管形成

グロスマンは根管治療で機械的、化学的清掃拡大とあるが、機械的清掃拡大がもっとも大切であると言っている様に操作は簡単で重

要な所は厳密でありたい。

根管孔をあつかう場合ラルゴ型のリーマーは根管深くはいると、なかでステップを作り易くピーソーリーマーを深く使うと根管の形状がクリアーにならず袋状となるのであまり好ましくなく、あくまで根管上部に使用するものであるが、バットコーンバーやエルワイテルリーマーも使い方では有効である。しかし根尖1/3の一番重要な部分はハンドインストルメントを使用しなくてはいけない。根尖はアピカルシートを形成の上緊密に根充することが大切であるが、弯曲した根管にリーミングした場合、根管の形態を損傷し器具の破折の恐れがあるので、弯曲根管にアピカルシートを形成するのは難かしく不可能にちかい。

機械的拡大の他化学的清掃剤として次亜塩素酸ソーダ(7%)や過酸化水素は有効にその価値を認め使用した方が得策と言える。

◎ インストルメント

我々が根管形成で一番頼りにし、根管を深く扱えるのはリーマー、Kファイル、ヘッドストロームで、これらは国際規格に基づいて作られて、60番までは0.05mmづつ大きくなり、60番以上は0.1mmづつ大きくなる。この規格サイズの許容誤差は0.02mm以内と定められている。リーマー、Kファイル、ヘッドストローム、ガッターバーチャーポイントは全て規格化されていると表示がなされ、成書にも規格化されているので歯科医が安心して使用される様にと書いてあるが、九大の永沢教授は早くからそのばらつきを指摘され、さらに私の実験では

1. ガッターバーチャーポイントは規格されていない。
2. 複雑な根管形態から拡大しても全面がクリヤーに拡大されることは難かしい。

3. 複雑な根管形態の為、国際規格型のカッターパーチャーポイントをもってしても形態大きさに一致しない。

以上から実験でマイクロメーターを使用して調べてみると国際規格の表示は怪しげであり、インストルメントのサイズもゲージもいい加減であり、我々はそれを使用しているのであって、根管形成少くとも根充を考えた場合30番以上拡大が必要である。規格に対して安易な考えを持っていればアピカルシートを壊したり、根尖孔より1mmアンダーと言う基準が守られていなくても同様である。

A. D. A. に於いてはそれ程差はなく、現在の規格は長く見すごされたものに対する批判と受け止めるべきであろう。規格が出来上がる以前は根管形成は退屈で時間のかかるものであった様であるが、現在もそれは退屈で時間のかかるものであることに変わりはない。これから規格が守られれば根管形成は我々にとっても心ちよい短い時間となるであろう。イングルは問題のある器具はもとの番号にもどきなさいと言っている。

◎ 根管充填

根管充填の時期は拡大の完了した時に行っている。又根管充填は歯内療法の上めくりであるから非常に大切な事である。

根充法

1. ラテラル法・シングルコーンテクニック、
・マルチプルコーンテクニック、
2. パーチャル法・

マスターポイントをヒートブラガーで焼き切り、熱い器具をつきさして押し、この反覆で根尖部のガッターパーチャーを緊密に根充し、さらにその上から追加して行くが、これらの方法にはシルダー法、大谷、大津法等があるがいずれも実

際には困難で誰れにでもできるポピュラーなものではない。その他に電気メスを応用した須賀先生の方法がある。

1. ラテラルでガッターパーチャーを圧接
2. 電気メスのチップを根管内に挿入通電加熱するとガッターパーチャー軟化
3. スプレダーで加圧し、アクセサリーポイント挿入

ガッターパーチャーは半固体で暖めると軟化、冷えると硬化するこの特性を生かしたもので最初挿入する時は硬く、根管内で軟化し圧接しようとする方法で、良いアイデアで試みてみたが、電気メスのチップをあてて通電しても電流が流れ難く軟化がうまくなく、抜く時同時にガッターパーチャーが抜けて来る等の欠点があった。

その他ヘッドストロームタイプのファイルにガッターパーチャーをつけておき、それを根管内に挿入(10000~15000回転させるとその摩擦熱で発熱し、ガッターパーチャーが先端に押され根充が出来ると言う方法もあるが、これも非常に難しいテクニックである。要するに根管内に軟らかいものを緊密に充填すると中の空気を押し出してある程の気腫を作ることになる。しかしラテラル法では根尖1/3に死腔を形成しやすいので失敗をなくし精度を高める為に自分なりに考察し、電気メスを利用しガッターパーチャーの軟化と確実な根充の為に次のことを条件にした。

1. スムーズな根充が出来る
2. スムーズな根管形成又はアピカルシートができない場合でもオブチュレーションの効果がでなければならない。
3. オブチュレーションは確実に押し出しはひかえめに
4. 押し出しても根尖周囲組織に為害性のな

い材料が必要である。

5. 一時的であっても患者に苦痛を与えない
6. テクニックがシンプルである
7. 細くて長い根管、太くて根管孔が大きな根管などの様なケースにも適用できるテクニックである。
8. 補綴物が脱落しても再根充の必要がない
9. あまりに大きな根管形成は必要ない
10. 根の破折がない位の大きさで十分な根管形成であること。

以上の条件を充す為にパーティカル法で考えてみると、第一法。

1. プラガーの使用でプラガーの規格化でエンドゲージで合わせて切断し、先端を丸味をもたせる。
2. 振動を与えられる様なプラガーの選択
3. 根管長 -3 mm が作業基準点となるので、メジャーメントストップがつけられる。
4. 弯曲した根管にも適応出来る(上下運動だけでプラガーの破折変形はない。)
5. 電気メスのチップをスプレダー状に長くして根尖まで軟化を可能にする。
6. 電気メスを使用するので通電を良好にする為にオブチュレーションガッターのユーカリパーチャーをシーラーとして使用。

その根充法

1. 最部ラテラル法
2. 先端 10 mm の所をヒートプラガーで切断
3. 少し軟化しているのでスプレダーを突き刺し電気メスチップの導入隙を作る。
4. 電気メスチップは作業長 -4 mm に調整
5. 断続的に通電(エレクトロサーヂェリーユニットは凝固点でセットポイントは高め)患者が痛みを訴えたらすぐ止める。
6. 作業長 -3 mm に調整したプラガーで押し込む
7. これをくり返す

8. 電気メスで通電(-4 mm)
9. プラガーでしっかり圧押(-3 mm)
10. スプレダーでアクセサリーポイント
11. もう一度プラガー
12. スプレダーでアクセサリーポイント
13. ヒートプラガー

パーティカル法では作業の流れが悪く弯曲した根管はこの方法しかないが、もう少し簡単な方法はないか考案した第二法。

ラテラル法で考え従来のスプレダーと先端を丸くしたプラガー、又シーラはオブチュレーションガッターをユーカリ油で溶融したものにカー社の銀粒子含有のシーラーで流電性を良くする。電気メスのチップを改良し、メジャーメントストップを付る。エレクトロサーヂユニットは凝固点にセット。

方 法

1. ラテラル法で根充
2. ヒートプラガーで根管口でポイントを切断
3. スプレダーを根管内に圧入
4. 電気メスチップ(-3 mm)で断続的に通電
5. スプレダーで圧押
6. 電気メスチップでもう一度通電
7. プラガーを入れて根先端はもちろん頬舌的遠心的にしっかり圧押
8. アクセサリーポイント挿入
9. もう一度くり返す

以上ラテラル法を二度やるので少し時間が必要。

注意点 ◎ユーカリ油にマスターポイントをつけ軟化する場合

大	1分
小	30秒

◎アピカルシートの -1 mm でストップする大きさのマスターポイントを選び、ユーカリ油につけ上下運動をやりながら徐々に入れる。

最後にテクニックはシンプルに大切なポイントは厳密に行う。 おわり。

講演を聞いて、我々は毎日の多忙な臨床の中でそれが当然のように、メーカーの標示する規格、材料処方に何ら疑問を持たず、やみくもにそれを信じて作った医原性の予後不良例を誰れでも抱え悩んでいることだと思えます。大学の教室でもその基礎的なチェックなしで予後の成功例のパーセントを出すことも、又短期間の経過ではその予後は非常な流動的なもので、はたして長期的な成功例としてトラブルなし継続するものか疑問を投げかけます。

抜髄した歯牙の生命の鍵を担当している我々が握ぎっている事実を考える時、これから歯内療法は歯科が社会的に認識されるかどうかの重要な分野であると思われれます。

保険制度の枠内で制約された診療と云う概念は一部の我々だけが考えていることで社会的に

はその様な安易な考えを容認するはずはなく、歯内療法はこれからの歯科医療事故紛争の大きな論点となって来ることと思われれます。

日常の診療で保険制度いや保険診療と云う言葉があるとしたらその陰にかくれて、忘れかけていた本来あるべき姿の医学の原点を追及したこの様な世界的にも通用する研究成果に接し、歯内療法に限らず診療をベースにした生涯研修に勇気と希望を我々に与えてくれました。

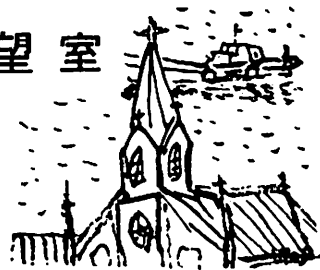
エンドのスペシャリストも出来ない様なこの研究が私達の近くで開業されている先生で忙がしい日常診療と両立して研究された努力と奥深さに驚きと尊敬の念を深く抱き感動しております。

参考文献

- | | | |
|---------------|-----|---------|
| グロスマン | エンド | ドンティックス |
| イングル | エンド | ドンティックス |
| 臨床歯内療法、歯界展望別刷 | | |



展望室



体力づくり随想

熊本女子大学名誉教授 伊藤基記

私はこの三月に32年間勤めた熊本女子大学を停年退職した。どうしたら若さを保つことができるかに挑みつづけてきたような体育の専門家としての数十年であったが、正直のところまだ結論はでていない。人生には退職はあっても停年はない。そうしてまだやりたいことが沢山残っていて……というよりも次から次へとやりたいことがふえてきて忙がしい毎日を送っている。体の調子も完璧ではないがどうやらバドミントンもテニスもそうしてゴルフもつづけている。実は23才の頃に熊本県の第一回の体力試合（体力章検定の前身）に参加し優勝した際に、無暴にもそれまで一回も練習していない50kgのバーベルをさしあげた際に腰をいためたのだが、それを完治しないまま体操やテニス、バドミントンなども含めて考えると相当に肉体を酷使した。これがたゞって、50才の頃から足の方に大部がたがきて、ゴルフをはじめた頃から腰痛を意識するようになった。専門医に診断していただくと、第4腰椎が少しずれているらしい。体の前屈はできても後屈はつつい敬遠してしまう。アスファルト道なら1軒でも膝から下、特に足首から下、足の裏がじんじんして、歩く快感を奪ってしまう。だが運動靴だとまだ大丈夫だし、不思議なものでゴルフなら1ラウンドでは物足りない。ともあれこの腰痛と足のしびれは体育人としては大きな失態である。

頭の毛が一向にはえないのと併せて現在の私の大きな悩みでもある。頭の方はとうにあきらめて、最後の手段としてはアデランスに頼ることにしているので問題はないのだが、腰痛の方は一日も早く治したいのだ。然し専門屋もおとなしくいたわれとアドバイスしてくれるだけで、それ以上積極的な治療策は指示してくれないのである。温泉にでもいってマッサージでもしておれば幾分よいだろうとは思っているのだが、そんな暇もなければ金もない、第一、一日でもじっとしておれない程「運動中毒患者」になっているのだからどうにもならないのである。食欲は一向に衰えないから運動をひかえたら忽ち肥ってしまう。体重を65kg以下に押えるのに苦労している昨今であるから、自己流の体操を懸命に実行して、何とか面目を保っている。壮年体力テストを自分で試してみると閉眼片脚立の外は全部、30才台位のデーターがでるからこの方は化者扱いをされる。全体としては目下のところ、今まで実行してきた自分の体力づくり、又他人にもすすめてきたことは、あまり軌道はずれていないと自負している。だが病魔にいつおそわれるか神ならぬ身の知る由もないから、あまり大きいことはいえないだろう。然し死んでからさきのことは世の批判にまかせればよいのであって知ったことではない。生きている間にせいぜい大ぼらを吹いていた方があの世への

扉もスムーズにあくのではないかと勝手に精神的にあぐらをかいているのである。

さて今回熊本市歯科医師会から御依頼で何かかけとのことである。どうしたら「若さ」が保てるかについて自分なりにやってきた40年にわたる体育人生活の中から「基本的な条件」について述べさせていたゞきたい。筆をとって自分の考えを整理する機会を与えられたことを感謝している。順不同だが私が永年実行し又他人にもすすめてきた運動の種目を逐条解説してゆこうという次第である。毎日必ずというものもあるれば週2, 週1というものもあるがそれは読者の方々に加減していただけると思っている。

1. 歩くこと

正常な体の人は歩くことをいやがらない。いやむしろこれを頗る快とする。然し現代文明社会はこの歩行の快感を人間から奪い去る要因を多分にもっている。少くとも日常のビジネスの生活では歩行そのものにこだわっておれない場が多くなる。歩いていては間に合わない。ついつい交通機関をフルに活用する。歩くことが少くなれば当然の結果として体調をくずす。そこでビジネス以外のところで歩くチャンスをもとうとする。大ていの場合にはスムーズに歩くことができるし、特に早期の手当てとしての歩行（大ていの場合には散歩とか、山登り、ゴルフなど）は効果的である。ところが相当期間、歩行から遠ざかっていて、歩かない快感のようなものが身にしみついているときに、たまたま相当の長距離歩行を強行すると、快感を通りこして「苦痛」の方が印象的に残ってしまう。あとがきびしくなる。歩けばよいことはわかっていても、時間的な無駄を意識したり、疲労感にとられるようになるについつい敬遠してしまうことになる。特に腰をいためていると必ず足にくるから、少しあるくと足がだるくなり、甚だしい場合は、しびれや虚脱感がでゝくる。わずか

の距離でも車を利用するようになり、ますます深みにはまりこんでゆくことになる。私も体育人であり乍らこのケースにまんまとはまりこんでしまった。自分で車を運転してゆけば、同じ時間で2倍の効果であるからついつい頼ってしまう。そこでつとめて歩くようにしているが、正直にいったゞ歩くというのは（走ることも同じだが）全く退屈なものである。何か面白いこと楽しんでいるうちにいつの間にか相当の距離を歩いている。という点でゴルフは素晴らしいスポーツである。スコアにこだわるなというが、スコアにこだわるから面白いのである。一緒に廻っている人のミスを喜ぶ程ではないが、ひそかに対抗意識を燃やすところに何ともいえない闘志がわく。実はこれは自分との戦いなのだが、私のような凡人はライバル意識に徹する。（初心者教える立場で廻るのは別）。コテンパーにやられゝば相手がシングルでもくやしい。そこで18ホールでは余程体の調子がわるくない限りもの足りないのである。それでもこれが「若さ」だと思っている。この外にも人それぞれ歩くことを楽しむ方法はあるように思う。必要にせまられゝば何とか捻りだしてくるものである。

2. 走ること

これはやれば、いや、やれゝば全く素晴らしいことだ。走れるうちにうんと走りこむことだと思っている。特に早朝のそれはダイヤモンドの値うちがあると思う。なるべく土の上を走ることだ。街の中は底のあつい、やわらかい運動靴をはくのが賢明であり、次第にレベルをあげてとにかく続けることが大切。単純なことの繰り返しにこたえる意志の力を養うことにおいて最高である。

3. 体操を励行しよう

これは三日坊ずになりやすい。毎日薬をのむつもりで汗がでるまで頑張ると、やみつきにな

るから不思議である。やめると第一に便通がわるくなる。食慾おちて、そのわりに肥ってきて体が重い……これはいかんと復活して……またくずれる……を繰り返しているうちにいつの間にか身についてしまう。となれば一応成功であろう。ラジオ体操、テレビ体操は完璧に近い。これを真似しないのは一大損失であろう。なお、十分に屈指伸しするの でなければ効果はうすいので要注意。

4. 体を弾力的に使う

神は人間に他の動物と同じように頗る良質の筋肉を与えた。走ること、跳ぶことはその最たるものだが、この縦の跳躍と対蹠して、投げる、打つ、蹴るなどは横の跳躍といふことができる。体操だけでは物足りない、スポーツの中に充実感があるというのは、この体の弾力的な使い方がふんだんに盛られているからでもある。跳べる、強打ができる、遠投、速投ができるその度合いが即若さの度合いである。貴方の体をごむてまりのように、全身をむちのように、程度はおとしても、生きている限りやめるべきではない。だから私は年をわすれてバドミントン、テニス、ゴルフを楽しむことにしている。球技はこの観点から貴重品といふべきであろう。フリスビーなどは最も新しいすぐれた種目だと思っている。

5. 懸垂をわすれるな

今さらさるの真似をといたなかれ。握力、けんすい力は生命力である。とはいっても、大車輪などウルトラCは勿論一般向きでない。日本の体操（キカイタイソウ）は国民大衆をおきざりにして、少年少女の「苗」を育てることを怠っているうちに、二流におちこもうとしているが、その成績は別として、けんすいは大切である。小、中、高の独占物ではない筈である。社会人こそ、腕立てとび上りや、攀登棒登り、雲梯わたり、逆上りなどを励行すべきである。

4の跳躍と同じく、けんすいも「最も体重が邪魔になる運動である」従って、跳びもしないけんすいもしないというのでは「きりりとひきしまった体」ができあがる筈がない。肥満体になりたくなければ薬を飲むつもりで、この二つの運動を自分なりに生活の中にとり入れることをおすすめする。やり方は自分で工夫する以外に道はない。

6. 格力的動作の効用

人間の体自体を武器として使う運動を格力運動という。合気道、唐手、○○拳法などはその代表的なものである。球技の中にも多分に含まれている。バドミントンの強打などはその最たるものである。別に試合をやらなくてもその真似ごとでも充分である。木剣の素振りなども貴重品であるといつてよい。気合いが大切である。武道家の体をみればよい。

7. リズムに併せて体を動かすことを忘れるな

唄う、おどるは人間の本能的な若さを獲得し維持するための運動である。舞踊、ダンス大いに結構、どんどんやることである。ひとの面前でやる緊張が貴方の若さを刺激するのだ。

8. 水泳は最高の美容体操である

歴代のミスワールド、ミスユニバース…etc皆、自由型のエキスパートである。ターザン第一号のワイドミラーも自由型のチャンピオンである。自由型だけでなく、水泳すべて素晴らしい体型をつくる。それに比例して強い内ぞうをつくってゆく。跳込みやシンクロも見捨て難い。就中、跳込みは日本の青少年にどんどんやらせるべきだ。逞ましい人間をつくるのであればこれに眼をそぐことを忘れるべきではない。何も10米の高さから高等技をみせることだけが能ではない。一米からでも跳び込んで泳げばそれだけの効果はある。

幼 児 体 育 随 想

私の大学に於けるライフワークは「乳幼児の運動能力の発達」ということであった。いろいろ見聞し、研究し、講演、講習などを行っているうちに、乳幼児時代が大切な年代であることをますます痛感するようになったといつてよい。日本の教育、体育、スポーツなど、「種をまき苗を育てる世界」を軽視したために、しこたまそのお返しをうけているような気がしてならない。種はまずいものをいゝ加減にまいておいて苗床には大して肥料もやらず、いざ収穫というときになって、出来がわるいと下手に歎いているようなものだ。

データがない、科学的になどとうつつをぬかしているうちに大筋の基本的な問題がよい加減に放りだされたために、至るところにその弊害を生じているといつてよい。

一番重要なファクターは遺質だが、すでにこの世に生をうけたものの遺質を今更云々しても致し方のないこと、母の胎内のことから考えよう。胎内におさまったときには肉眼ではとらえられない微細な、精子と卵子の結合体は、10ヶ月の後には3疋をこえて孤々の声をあげるのだから、その発育の倍率はまさに天文学的数字である。生後、4、5ヶ月で体重は2倍になり、身重が2倍になるのには4年以上を要する。発育曲線は5、6才までは急であるが、そのあとはゆるやかになり、大体、17、8才～20才でピークを迎へ30才をすぎてゆるやかな降り線を辿る。子供の遊びの種類は5、6才の頃がピークである。素朴な未分化のかたちではあるが、人間のやることの基本的なものは5、6才の頃までに全部芽を出していると考えてよい。

従って、ある意味からすると、小学校にいつてからでは遅いのである。小学校にあがるまでに勝負がついている部面も考えられるからである。父兄の眼さきの要望に応えようとして、学校はどうしても「成績至上主義」になり易い、しかも小学校というところは、何でもやらねばならぬところだから先生の苦勞も大変なものである。中学校以上は専科だから、英語の教師は英語一本で生徒に対する、体育は体育で、理科は理科、社会の教師は社会に没頭していてもつとまる。勿論、管理、指導の面でも仕事もあるのだが、一応中心課目がきまっている。ところが小学校の教師は私は体育はごめん、社会はにがて、工作はかわってというわけには参らない。しかも小学校の子供に教える程度の範囲内における教材研究ではよい教育ができる筈はないのである。乳幼児の頃からどのような発育をとげ、小学校に入り、又出てから中、高……と大体、こういう経路を進む……ということを把握して、そのいわば全人生の流れといえるようなもののなかで、今対象とする子供がどの辺りを流れているか、泳いでいるかを掴んでいなければ……と大変な荷物が小学校教師の肩にかゝっているのである。だから、現在の教育制度では、乳幼児時代の基本的な遅れを小学校でとり戻すことは不可能に近い。子供は無限の可能性をもつというが「芽」がでているときにその芽を適当にのばし育てる環境があることが前提である。果してその環境があるであろうか。又見方によっては、学校とは集団教育の場であり、個性の伸長とうたいあげても「下手はますます下手になり、上手はますます上手になる」とい

う傾向を生じやすい。そこでは序列をつくって次の段階のフルイの役をさせている。

従って乳幼児時代の総てに於ける優劣の差はそのまゝの角度を保ちこゝ、少年時代、青年時代へと投影域を拡げて行く。……幼少の頃に或る程度勝負がつく……といわざるを得ないのである。

然しだからといって、私は、幼少の頃から「特訓」を開始せよといっているのではない。いやむしろいろいろの方面にわたって浅くてもよいから広範囲の遊びの経験を子供達がすることが出来るような「環境づくり」を強調しているのである。

それではどんな環境づくりをすればよいのであろうか。そもそもどんな子供像を画くべきであらうか、健康で逞しく、朗らかで明るい子供がよいというがそれでは余りにも抽象的である。もう少し具体的に○○ができる子供といった方がわかりよい。

1. 歩くことの好きなこども

…どこどこに行くぞという喜んでとび出してゆく、ついてゆく、少々いそいそでも、少々長くてもどんどん歩いてゆく。交通ルールもある程度、年令並みに理解している。どこかにというとすぐ乗物で運んでやる……という様式に流れていると歩くことを敬遠する人間の下地ができあがってしまうと大変である。貴方の子供さんは大丈夫ですか。

2. 生活作業を嫌らわないこども

まともな乳幼児は大人の家庭や戸外の生活のための動作をまねたがる。それをうるさがるようでは落第である。掃除、運搬、もちあげ、草むしり、その他、道具をつかうことも、子供の力量に合い、危険防止をしっかりとて、おつき合いをしてやるべきである。金槌も鋸も、ス

コップもハサミもやりたいチャンスは殺してはならない。日常の作業動作について、全く音痴に近い人間を見かけるが、これはその因を乳幼児時代にもっていることは明らかである。

3. 空間感覚をもった子供

空間を移動するものに対する反応動作を意味する。ボール運動がこの代表的なものである。小さい時に父親かそれにかわるものが相手になって、つき指をしたり、球を顔に当てゝ痛い目にあわせたりしない注意が肝要である。キャッチボールをうまくできて、球遊びが好きでせがむようになり、友達と一緒にやるようになれば占めたものである。大人になってから、このメリットはいやという程あらわれる。どのスポーツに進んでも道がひらけると断言できる。ボール遊びに道具が加えられゝばラケット競技になり、野球のバットを振り廻すことになる。これと陣取り鬼ごっこのような対人的かけひき加われば鬼に金棒であることは御理解いただけるであらう。

4. けんすい運動をきらわない子供

小さいときに四つん這いをうんとさせることが大切。間違っても「歩行器」で無理に歩かせないこと。（これにいれておくと安全で、自然に歩くのがはやまると思うのは間違い…とくべつの子供は別）、這い廻っているうちに内ぞうも強くなり、肩帯諸筋をはじめ全身の筋力を順当に発育させ、けんすい力を強めることになるのである。普通、自然に摺まり立ちをし、テーブルなどの伝いあるきから歩くようになるのが正常で、この頃になると握り頃の棒につかまって床から足がはなれて、所謂ぶらさがりができるようになる。このぶらさがりけんすいや腕立てのけんすいは無理のないようにその場をつくってやれば、子供達はよろこんでやるようにな

る。自然に低鉄棒の腕立てとびあがり、前廻りおり、逆上りができるようになるのは5才からさきでよろしい。5才になれば3米位の棒には登れるようになるのが正常である。肥満の傾向があればこのけんすい運動を敬遠するので要注意である。

5. 跳んだり、走ったり

かけっこや鬼ごっこなどをどンドンするようなら将来が楽しみといってよい。跳ぶことで子供は元気であることを示す。とびこしたり、とびおりたりする場を工夫してやるのは賢明である。どの程度かということは子供と一緒に遊べばすぐにわかる。けんけん遊びは頗るよい。

6. 水遊びの好きな子供

顔や体に水がかかってもけろっとしているようであればしめたものである。冷たい水やお湯は息がつまってこわがるから、体温とあまりかわらないぬるま湯で遊ばせるのがよい。これは夏場がチャンスである。水に顔をつけてもぐりようになれば、プールで泳げるようになるのは時の問題である。3.4才になってプールに連れていって、浮いて泳ぐようにしようとさせるのは愚の骨頂である。3.4才までは、プールでただ遊ばせておけばよい。5.6才になって、水に顔をつけて泳ぐかっこうができれば充分である。それから指導すれば忽ち目をみはるような進歩をみせるものである。

このほかにも子供は実に多くの遊びを自分で作りだしてゆく。なるべくその遊びの邪魔をしない方がよい。たゞ危険防止については充分配慮すべきであるが、そのためには子供と一緒に遊んでやる必要がある。といっても干渉しすぎたり、補助が多すぎると「子供自らの細胞分裂を殺してしまう。それとなく見守ってやったり、適當の相手になったり、模範を示し

たり、すゝめたり、やめさせたり、適當の子供同志の相手を配したり、…子育てでは、実にやっかいなものであるが、そのやっかいさを楽しむようでなければよい親とはいえない。

「安全教育」とは「危険すれすれの教育」ともいえる。鍛えられない刀ができたためしはない。たゆまずして子供なりに遊び、その進歩をみとめているうちに、子供は「努力」すれば何かできるようになることを自然に覚えるものである。辛棒して子育てをしておれば、子供自身が辛棒してくれるようになるものである。従って、教育も体力づくりも要は真の愛情如何ということになる。

受験受験で学校を卒業するから、子育てについての知識、技能は今の若い父親、母親にはついていないといってよい。子は宝と気付くのは孫ができてからである。高令者が増えた現代では子育てと共に「孫育て」が重要な課題として浮び上ってきた。老人といわずに熟年者という時代が訪れているとするならば、熟年者の生き甲斐の一つに「孫育て」を大きくとりあげる時代であるといってよい。

以上の外にも多くの種目を挙げることができ、基本的にはこのようなものが考えられる。オリンピック種目にあるようなものは総てそれだけの存在価値をもっている。その中から自分に合ったものを選んで実行し、何よりも楽しむ工夫をすることである。そうして実行するに当たっての注意としては

1. 次第にレベルをあげてゆくこと
2. なるべく仲間を誘ってやること
3. 毎日つづける工夫をすること
4. 早朝の活用を考えること
5. 栄養に注意し、便通の状態に気を配ること
6. 医師による検診をまめにすること

である。

石の上にも三年というが、効果は忘れたり、あきらめたりした頃にやってくる。「或る日突然」ということが多い。がむしゃらにつづけることである。理論は実行のあとにすればよい。三年以上つづけて、別人のようになった方を私は数多く知っている。

「体力づくりとは単純なことの繰返しにたえることである」をかみしめて欲しい。

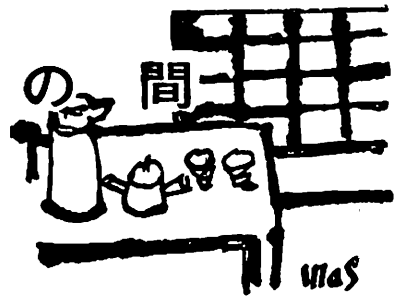
歯科医の方々は長時間、立ちずくめで、細か

い神経を使う。リハビリを考えなければ、不当に早期の衰えがやってくることは火を見るよりも明らかである。名医は長生きして欲しい。皆、自分こそは名医であると自負しておられる筈だ。従って自分こそ元気で長生きしてやろうと、野心をもやしていたぶきたい。暴言多謝。

昭和56年6月11日深更。



茶



未来はバラ色？ IC王国

IC—— わずか数ミリ角の小さな切片の中に、あらゆることを可能にしてしまう不思議な力を秘めた魔術師。現代社会はこのIC抜きでは二進も三進も行かないほど、私たちの日常生活に深いかかわりを持っているが、その生産に関しては、九州の比重がますます高くなってきた。そして、その中心になっているのが、IC王国とも言うべき熊本県。IC企業はいま、超LSIの本格生産時代を迎えて新しい段階に入ろうとしている。

ICはもう、すっかり私たちに耳なれた言葉になったが、それは一体、どこに使われているのだろう。ちょっと日常生活を見回してみると—— まず時計。デジタルなら必ずICが使われているし、カメラや電卓やステレオ、マシンにルームエアコンといった家庭用品にも、ほとんどICが内蔵されている。最近では自動車の省燃費化にもICが使われ始めた。

家庭を離れてオフィスに入ると、複写機やファクシミリ、電話回線もIC抜きでは動かない。それにいま大流行のマイコンとなると、これはもうICの固まりのようなもの。幼児の発音した波形をテープにとって分析し、正常な波形と比較して歯並びの良し悪しを調べるシステムも開発されているが、これなどもICを組み合わせたマイコンを使ったからこそ可能になった新しい技術だ。産業革命以来、百数十年間「鉄は

産業の米」と言われ続けてきたが、いまや「ICこそ新しい産業のコメ」と言われる時代に入っている。

ところでこの万能薬のようなICというのはIntegrated Circuit 集積回路の略で、トランジスタ、ダイオードなどの電子部品と配線を、数ミリ四方のシリコン板の上にまとめたもの。普通のICにはトランジスタ数百個分の電子が乗っているが、この数が増えるにつれてLSI（千～十万個）、超LSI（十万～百万個）と呼び名が変わり、能力も飛躍的に高まる。ICチップを光学顕微鏡でのぞいてみると、細い無数の線が縦横に入り組んで走っているのがみえる。線の太さは十ミクロン（百分の一ミリ）単位。現代の魔術師の素顔は、ピッカピカに磨いたシリコンの薄板の上に、複雑な幾何学模様を描く微細な線なのである。

川尻駅近くの、世界一のIC量産工場といわれる九州日本電気を訪れると、まるで病院か研究室と間違えるようなところでICが作られている。通路とガラスで仕切られた室内で、白衣姿の若い女性たちが大きな顕微鏡をのぞきながら作業をしている。従業員は約千五百人、うち千人は女性だが、この工場は夜通し明々と電気が灯って、機械は止まることがない。もっとも深夜労働は自衛隊退職者を中心とした男子社員の仕事だが。

早志忠之社長の話によると、九州日電はNECグループの半導体生産の6～7割を受け持っているという。一カ所に1,500人も従業員を集めるIC工場の建設は、今後はもう不可能で、おそらく九州日電は将来も世界最大のIC工場であり続けるだろう。ここで作られたICはその日のうちに航空コンテナに積み込まれ、全日空最終便で東京の日本電気に運ばれていく。

1,500人がかりで一日に作る製品も、縦横それぞれ1.5メートル、高さ2メートルぐらいのコンテナ2個に軽々として入ってしまう。しかし値段にすると、なんと3億円。これに対して運賃は2、30万円で「製品価格に比べればタダみたいなもの」と早志社長は冗談めかして笑う。だが、九州がシリコン・アイランドと呼ばれ、熊本県がIC王国を自負できるようになった最大のカギは、この冗談の中にこそあったのである。

それはまたあとで触れるとして、ICの製造工程は二段階に大別される。薄いシリコンのスライス板の上に複雑な回路を組み込むのが「拡散」。こうしてできたチップに外部と結ぶための導線を取り付け、プラスチックやセラミックの容器に入れるのが「組み立て」。この両工程を一貫して行っているのが、九州日本電気と三菱電機熊本工場だ。そして、この両社の周りには、後段の組み立てと検査だけ受け持ついくつかの衛星企業群が取り巻いている。昨秋から操業を始めた南星電機（泗水町）、九州日誠電気（矢部町）、今年四月稼動開始の熊本日本電気（錦町）といった新しい企業はほかに、野田市電子（熊本市）、原精機産業（水俣市）などのように、古い地場企業でIC組み立て部門に進出したものもある。シリコン・アイランドと呼ばれる九州の中でも生産の四割を占めるIC王国・熊本を築いているのは、こうした大手一貫工場とその周辺の衛星企業の集団なのである。

世界のIC産業はいま、超LSI時代の夜明

けを迎えている。これまで生産の主流をなしてきたのは16キロビット（ビットは記憶容量の単位）ICだが、いま始まろうとしているのは64キロビットの本格生産。九州日本電気も三菱電機熊本工場も、きびしい世界競争の中で勝ち抜くために、着々と超LSIの本格生産体制を整え、衛星企業群もそれに応じた設備と人員の増強を図っている。こうしてIC王国の比重はますます高まっているのだが、さてこれで熊本の未来は、この文化的イメージを振り巻く先端産業によって、バラ色が約束されるのかどうか――。

IC産業のほかに県内の代表的な進出企業としては、大津町の本田技研や長洲町の日立造船がある。本田技研熊本製作所は同社のオートバイの輸出基地に成長しているし、日立造船有明工場も、新鋭陸機工場を完成させて陸機部門の拠点として重要度を高めている。この両社に共通しているのは、周辺にスソ野の広い関連企業を集めていることだ。本田技研は約20社、日立造船は30数社の関連、協力企業群を従えている。こうした例に比べると、IC産業は組み立て部門のいくつかの衛星企業群を持ち、若干の関連した企業の進出を促したとはいえ、スソ野の広さは比較にならない。ICメーカーはオートバイや造船と比べてみると、技術的には極めて先端的だが、その先端さの故に、地場企業への波及効果という点にかけてはもの足りないところがある。

そして、熊本に限らず九州に展開したIC産業はいずれも「ICの生産現場」という一つのワクの中に限られているのもまた、否定できない事実だ。ICを使った機器の製造、ソフト部門への発展の芽は、残念ながらまだ出ていない。企業は熊本でのIC生産の集積をますます高めているが、そこにはIC生産というワクを飛び出してエレクトロニクス産業へと発展していく

エネルギーは、内包されていないのである。

ＩＣにしろ何にしろ、大量消費地から遠いというハンディを背負った熊本に企業を誘致するのは、それなりの困難がある。遠いということは即ち資材や製品の輸送コストが高くつき、時間もかかるということで、経済合理性を追及してやまない企業にとって大きな負担だ。そのハンディを乗り越えて熊本にＩＣ企業が続々と進出したのは、九州日本電気の早志社長が冗談まじりに指摘したように、飛行機を使ってもなお輸送費がネグリジブルになるほど、ＩＣの付加価値が高いという理由からに違いない。

こうしてみると、ＩＣの量産をしているからと言って、その近くにＩＣを使う機器の組み立

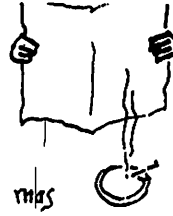
て工場が立地するかどうか。それよりは逆に輸送費をほとんど無視できるＩＣを運んで行って、大量消費地に近いところで機器組み立をする方が、より経済合理性にマッチしていると考えべきだろう。このまま手をこまねているのでは、熊本県はいつまでもＩＣ生産現場にとどまってしまう可能性の方が大きいと言わざるを得ない。エレクトロニクス産業への展開をどう実現するか——。この壮大で困難な課題を解決して初めて、熊本の産業の未来はバラ色に輝くのだ。

日本経済新聞 熊日支局

布設谷 明 人



本日休診



その後のグリーンカード制度と 換物運動について

三洋証券KK 財務相談室長 磯野 雅一

昭和55年度の税法改正で少額貯蓄等利用者カード制度（グリーンカード制度）の導入が決定しました。併し、その後、制度については是非論や換物運動が話題になり始め、最近の新聞紙上を賑わしています。併し、この法律の成立した背景、すなわち金持優遇税制の廃止という公平課税の見地から又、莫大な財政赤字の補填策の一つとして成立したことを考えてみますと、グリーンカード制度は必ず実施される事になります。

昭和55年度の税法改正に於いて、①総合課税への移行、②グリーンカード制度の採用、③昭和59年1月1日実施を決定し、金持優遇税制といわれる措置法を延期しました。その後、郵便貯金についても、昭和58年以前預入分も、カード番号で名寄せする事が決まるなど、着々と実効的な総合課税移行の為の措置がとられてきました。

ところが最近になって、政財界の一部（自民党）から、グリーンカード制度の見直し論が浮上してきています。グリーンカード制度の見直し論の理由として

- ① 金融資産の株式、貴金属、書画骨董等の実物資産への換物運動、資金の海外流出。
- ② これによってインフレを招き、経済運営に支障をきたす。
- ③ グリーンカード制度が円滑に機能せず郵便

貯金の限度額管理が厳格に行われない場合には郵貯への資金移動を加速する。——等々をあげています。

これに対して、大蔵省、あくまでも予定通り実施する方針で、国会で既に法律としてできている様な事は、あり得ないと逐一反論しています。併し、見直しの動きが、あまりにも高まってきた為、妥協案を検討し始め、①架空名義については名古屋方式の採用、②減税措置として夫の所得を妻と2分して課税する所得税の2分2乗法、③現行300万円という非課税枠を拡大する等の案が浮上してきています。併し、この様な多少の紆余曲折はあっても、グリーンカード制度は必ず実施される事になります。

昭和53年3月末時点の調査で、世帯数2,800万、人口1億1,000万人対し、預金口座が1億6,000万口座、郵便貯金で2億8,000万口座あり、又、個人金融資産は現在330兆円（内、預貯金約250兆円）となっています。グリーンカード制度導入をめぐる、すでに資産家、高額所得者の動揺が、みられ始め、有利な投資物件を求めて、大きな金融構造の変化がおきています。最近の①金ブーム、②活発化してきた貴金属の取引、③株式市場の活況等は、この為といえます。

ところで、グリーンカード制度の対応策、有

利な投資物件として、①貴金属、②書画骨董、③土地、④株式があげられます。これらの中で、市場性、換金性、大衆性に勝れ、又、税法上に於ても、日本で最も優遇されているものは④株式といえます。即ち、上記の投資物件は、全て「物」としての性質を有し、一定の条件の下では、グリーンカード制度とは関係のないもので

すが、売買して得た利益に、原則として課税されないものは、株式以外にありません。今後、グリーンカード制度実施に近づくにつれ、益々、換物志向が強まってくるものと思われます。それ故、いかに節税するかという事が、これからの財産管理、運用に重要な課題となってきます。



委員会活動

昭和56年度才30回母と子の

良い歯のコンクール

歯の衛生週間を前に5月23日(土)熊本市保健所にて午前9時より熊本市の母と子の良い歯のコンクール(熊本市、熊本市歯科医師会主催)が、中根俊吾、鈴木勝志、関剛氏他6名出席のもとに行なわれた。

市内3保健所で51組の中より20組が予備選出され、今回のコンクールの運びとなったものである。審査方法は例年通り母子合計200点満点よりの減点法により行なわれた。

一人に対し6名の歯科医の口腔審査により、優秀賞2組、優良賞4組が選出された。

例年の事ではあるが児童の平均点は90～99点で優勝は母親によって決定される様である。私感では、今年は昨年に較べると母親の優秀な方というのは少なかった様に思われた。

優秀賞に同市健軍一丁目

田中ふみえさん健太郎君親子

同市京塚本町

田中つい子さん裕樹君親子

が選ばれた。二組は6月7日の県大会に出場する事になっている。

(寺脇 博記)







昭和55年度

社団法人 熊本市歯科医師会総会報告

と き 昭和56年3月19日(木) 午後7時30分
 ところ 熊本県歯科医師会 3階
 総 会 員 数 235名
 出席会員数 130名
 (内委任状出席 102名)

定刻に至り理事山室紀雄は開会を宣し、本日の総会は上記のとおり有効に成立した旨を告げた。

つづいて物故会員に対する黙禱、会長川崎 正による会長挨拶を終え議長の選任に入った。

理事山室紀雄はその選任方法につき議場に諮ったところ、満場一致をもって木村義浩議長に選任された。木村義浩は議長席につき挨拶の後、議案に入った。



議長は本会の議事録署名人を選任するにつき、議場に諮ったところ全員一致をもって下記の者を選任した。

議事録署名人 林田 充成
 " 岩本 義人

会務報告

山室専務理事より会員の現況ならびに55年度の主要業務について報告

会計報告

昭和55年度 熊本市歯科医師会

才入才出予算現況、共済会現況、退職積立金現況報告が宇都宮常務理事より詳細に説明された。

監査報告

杉野市平監事より監査報告がある。

代議員議長審議経過報告

代議員議長坂元一夫先生より報告がある。

議 事

1. 昭和54年度才入才出決算書の承認を求むる件 (承認)
2. 昭和54年度熊本市歯科医師会共済会決算書の承認を求むる件 (承認)
3. 昭和54年度熊本市歯科医師会退職積立金決算書の承認を求むるの件 (承認)
4. 剰余金処分計算書の承認を求むる件 (承認)
5. 財産(備品)目録の承認を求むる件 (承認)
6. 昭和56年度事業計画案 (承認)
7. 昭和56年度才入才出予算案の承認を求むる件 (承認)

8. 昭和56年度会費及び負担金の賦課徴収方法について (承認)

9. 県歯代議員及び予備代議員の選出執行部にまかせる (承認)

会長、監事選挙

選挙管理委員長 伊東武嗣先生より立候補者名(会長候補 川崎正、監事候補 杉野市平、小堀大介先生)の報告がある。

無投票により上記の者が決定 (承認)

協 議

○資格審議会の今年度の問題点等の質問

54年度は距離の問題で1名あったが今年度はない。

○市だけ入会して県に入会していない会員について

県と市で相談検討する。

以上をもって議案全部の審議を終了したので議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人 林田 充成
" 岩本 義人



会 務 報 告

S 55.4～S 56.3

年 月 日	行 事 内 容	年 月 日	行 事 内 容
55. 4. 9	厚生委員会	55. 6. 17	北部 2 支部会
14	資格審議会	18	北部 1 支部会
	学校歯科委員会	23	社保委員会
15	北部 1. 2 , 中央支部会	26	口腔衛生委員会
18	西部、川尻、小島、南部支部会	27	理 事 会
22	広報委員会		
23	学術委員会	7. 6	補助者研修会 (第 1 回)
24	理 事 会	9	厚生委員会
25	東部 1 ～ 4 支部会	10	資格審議会
28	選挙管理委員会	13	補助者研修会 (第 2 回)
30	支 部 長 会	20	バレーボール大会 (商大体育館)
		22	理 事 会
5. 9	口腔衛生委員会	29	医療管理委員会
15	学術委員会		学術委員会
	支 部 長 会		
19	医療管理委員会	8. 1	厚生委員会
20	厚生委員会	5	医療管理委員会
23	選挙管理委員会	11	資格審議会
	臨 時 総 会	12	社保委員会
	理 事 会	13	口腔衛生委員会
24	よい歯のコントロール	20	学校歯科委員会
25	レクレーション (福岡、パンダ見物)	22	理 事 会
26	支 部 長 会	26	医療管理委員会
27	医療管理委員会	28	学術委員会
		29	広報委員会
6. 3	学術委員会		
8	歯 の 祭 典	9. 1	臨時委員会
10	臨時代議国会	12	監 査
12	広報委員会		口腔衛生委員会
	学術委員会	17	資格審議会
13	推進委員会		学術委員会
15	学術講演会	24	医療管理委員会

年月日	行 事 内 容	年月日	行 事 内 容
55. 9. 25	理 事 会	56. 1. 17	厚生委員会
26	代 議 員 会	20	学術委員会
30	学校歯科委員会	21	資格審議会
		22	広報委員会
10. 2	学術委員会	23	社保委員会
3	広報委員会		医療管理委員会
14	学術講演会	26	確定申告説明会
16	医療管理委員会	30	理 事 会
17	定款委員会		
28	社保委員会	2. 6	厚生委員会
29	口腔衛生委員会	12	予 算
30	理 事 会	16	資格審議会
31	学術委員会		医療管理委員会
		19	理 事 会
11. 13	医療管理委員会	21	懇親パーティー (キャッスル)
15	医療管理講演会	23	選挙管理委員会
16	無料検診 (鶴屋)	24	学術委員会
18	臨時代議員会	26	広報委員会
	臨 時 総 会	27	医療管理講演会
20	学術委員会		
25	学校歯科委員会	3. 3	学校歯科委員会
26	社保委員会	5	監 査
	歯みがき訓練 26日～29日	10	資格審議会
27	理 事 会	13	口腔衛生 合同委員会 学校歯科
		14	学術講演会 (厚生年金会館)
12. 12	理 事 会	16	代 議 員 会
17	学校歯科委員会		理 事 会
	口腔衛生委員会	17	広報委員会
25	学術委員会	19	選挙管理委員会
			総 会
56. 1. 10	広報委員会		

庶 務 報 告

S 56.2.28現在

- (1) 現在会員数 2 3 5 名
 一般会員 1 9 4 名
 親子会員 1 4 名
 終身会員 2 4 名
 勤務会員 3 名

- (2) 入会者名
- | | | |
|---------|----------------------|------|
| 伊 藤 友 己 | 熊本市近見町 2 7 5 5 | 川 尻 |
| 出来田 悌 吾 | " 黒髪町 2 丁目 1 6 の 1.5 | 北部 2 |
| 赤 城 邦 雄 | " 戸島町 3 2 2 3 の 2 | 東部 3 |
| 蔵 田 幸 一 | " 本荘町 7 2 0 の 1 | 南 部 |
| 水 野 完 治 | 飽託郡北部町西梶尾 4 7 4 の 2 | 小 島 |

- (3) 物 故 者
- | | |
|---------|---------------------|
| 上 垣 良 介 | 熊本市坪井 5 丁目 1 の 1 6 |
| 緒 方 益 夫 | " 健軍 3 丁目 4 8 の 1 |
| 富 田 久 | " 本荘 6 丁目 1 7 の 2 7 |

- (4) 退 会 者
- | | |
|-------|---|
| 守 田 朗 | 熊本市尾ノ上 2 丁目 2 2 の 2
(第 5 工藤ビル 6 0 1 号) |
|-------|---|

昭和55年度 熊本市歯科医師会歳入歳出現況

S56. 2. 28現在

収入済額 29,501,307 支出済額 16,609,410 残高 12,891,897

(才入の部)

款	項	費目	予算額	確定額	収入済額	未収額	備考
1		会費	11,909,797	140,359,92	140,229,92		
1		均等割	2,039,000	2,138,000	2,125,000	13,000	坂梨秀4,000、渡川3,000、清水2,000 村上忠2,000、水野2,000、
2		保険診療負担金	68,707,97	68,979,92	68,979,92		診療報酬 1 1000
3		入会金	300,000	500,000	500,000		新入会 5名
2		寄付金	1,000				
3		過年度会費	0	0	0		
4		雑収入	5,422,391	69,259,10	69,259,10		
1		預金利子	11,791,5	707,184	707,184		富士銀行、肥後銀行
2		雑入	530,447,6	62,187,26	62,187,26		生命保険手数料
5		前年度繰越金	531,249,5	855,240,5	855,240,5		
		計	22,645,683	295,143,07	295,013,07		

(保管区分) 肥後銀行 12,872,037 定期預金 9,000,000 未収入金 256,921
 * 1,365,448 当座預金 611,285 有形固定資産 804,100
 富士銀行 1,520,162 現金 46,675 預り金 4,580

(才出の部)

款	項	費目	予算額	支出済額	予算残高	備考
1		事業費	8,410,000	66,903,71	1,719,629	
1		学術費	1,750,000	1,676,540	73,460	学術費(2回) 470,000 交通費 諸経費 106,440 記念品代(2回) 177,000 学術セミナー 162,500
2		口腔衛生費	750,000	600,055	149,945	小児歯科コンクール 38,000 幼稚園フリップ作り代金 430,000 生物学協議会出席(旅費、経費 3名分) 337,320
3		社会保険費	680,000	225,890	454,110	社保説明会
4		医療管理費	780,000	58,640	1,936,00	講演会謝礼(2回) 140,000 記念品代 60,000 交通費、諸経費 50,000
5		広報費	1,800,000	1,189,350	610,650	会誌代(3回) 361,200、原稿謝礼 30,000 別冊 34,500
6		厚生費	1,600,000	1,802,606	△ 202,606	バレーボール大会 319,260 懇親パーティー 855,500 パンダ見物 387,080
7		学校歯科費	700,000	46,8530	231,470	フィルム購入 70,000 歯みがき訓練 142,380 全国学校歯科保健大会旅費(2名) 75,200
8		各種委員会費	200,000	141,000	59,000	資格審議会
9		医政費	150,000		150,000	
2		事務費	62,735,20	65,863,84	△ 31,2864	
1		渉外費	650,000	1,009,328	△ 359,328	松本市歯科医師会との懇談会 230,285 新方会長挨拶 500,000
2		俸給	2,011,200	1,931,600	79,600	
3		諸給与	1,170,320	125,425,9	△ 83,939	
4		旅用費	270,000		270,000	
5		需用費	1,200,000	91,818,7	281,813	電話代、通信費他
6		事務所費	72,000	66,000	6,000	
7		備品費	200,000	22,7800	△ 27,800	コピー機械(市負担分) 227,800
8		雑費	700,000	11,792,10	△ 47,9210	54年度法人税支払 814,770
3		会費	35,644,00	26,770,72	8,873,28	理事会旅費、車代、会議費
4		職員厚生費	643,583	655,583	△ 12,000	
1		退職積立会	360,000	330,000	30,000	
2		厚生費	283,583	32,558,3	△ 42,000	
5		予備費	3,754,180		3,754,180	
		計	22,645,683	166,094,10	60,362,73	

昭和55年度 熊本市歯科医師会共済会歳入歳出現況

S 56.2.28現在

収入額 3,605,448 支出額 2,240,000 残高 1,365,448

才入の部	金額	才出の部	金額
共済会費負担金	1,388,000	弔慰金(上垣良介先生分)	300,000
初回金	10,000	"(緒方益雄先生分)	300,000
利息	39,678	"(富田久先生分)	300,000
前年度繰越金	2,167,770	"(渡辺益雄先生御母堂様)	20,000
		"(中村勇一先生奥様)	20,000
		"(中根俊吾先生御尊父様)	20,000
		見舞金 伊藤武嗣先生	20,000
		水害見舞金 片山幹夫先生	200,000
		島正先生	250,000
		永野秀雄先生	250,000
		杉野陽二郎先生	250,000
		前田年茂先生	250,000
		花環代	60,000
	3,605,448		2,240,000

昭和55年度 熊本市歯科医師会退職積立金現況

S 56.2.28現在

収入額 1,258,309 支出額 0 残高 1,258,309

才入の部	金額	才出の部	金額
55年度退職積立金	330,000	0	0
前年度繰越金	928,309		
	1,258,309		0

監 査 報 告 書

昭和 5 4 年度決算ならびに昭和 5 5 年度（上半期）
（S 5 5. 8. 3 1 現在）の監査を施行し、立派に詳細に整理されていることを報告いたします。

昭和 5 5 年 9 月 1 2 日

監 事 杉 野 市 平

監 事 小 堀 大 介

監 査 報 告 書

昭和 5 5 年度 下半期（S 5 6. 2. 2 8 現在）の監査
を施行し、立派に整理されていることを報告いたします。

昭和 5 6 年 3 月 5 日

監 事 杉 野 市 平

監 事 小 堀 大 介

昭和54年度 熊本市歯科医師会歳入歳出決算書

収入額 29,455,636 支出額 14,903,231 残高 14,552,405

(才入の部)

款	項	費目	予算額	勘定額	収入済額	未収額	備考
1		会費	12304820	14957866	14957866	△ 2653046	
1	1	均等割	2050000	2089000	2089000	△ 39000	一般会員10,000 親子会115,000 株主会11 4,000 勤務会115,000
2		保険診療負担金	6254820	6868866	6868866	△ 614046	診療報酬 1,000
3		入会金	4000000	6000000	6000000	△ 2000000	新入会員 6名
2		寄付金	3954356	10093130	10093130	△ 6138774	簡易保険 5/7
3		過年度会費	0	0	0	0	
4		雑収入	4414990	4404640	4404640	10350	
1		預金利子	95352	229741	229741	△ 134389	富士銀行、肥後銀行
2		雑収入	4319638	4174899	4174899	144739	生命保険事務手数料
5		前年度繰越分	0	0	0	0	
		計	20674166	29455636	29455636	△ 8781470	

(保管区分) 肥後銀行 11,298,054 定期預金 7,000,000 未収入金 0
 " 2,167,770 当座預金 746,857 有形固定資産 884,100
 富士銀行 911,769 現金 26,296 預り金 △ 813,130

(才出の部)

款	項	費目	予算額	支出済額	予算残高	備考
1		事業費	8212000	6055922	2156078	
1	1	学術費	1500000	1374328	125672	
2		口腔衛生費	700000	708495	△ 8495	
3		社会保険費	600000	287200	312800	
4		医療管理費	752000	347050	404950	
5		広報費	2000000	1296610	703390	
6		厚生費	1600000	1229084	370916	
7		学校歯科費	610000	548455	61545	
8		各種委員会費	300000	168000	132000	
9		医政費	150000	96700	53300	
2		事務費	5677220	4831944	845276	
1		渉外費	630000	316990	313010	
2		俸給	1963200	1909200	54000	
3		諸給与	1142020	1152893	△ 10873	
4		旅費	270000	53000	217000	
5		需用費	1000000	924061	75939	
6		事務所費	72000	72000	0	
7		備品費	200000	7400	192600	
8		雑費	400000	396400	3600	
3		会費	3372000	3346650	25350	
4		職員厚生費	660000	668715	△ 8715	
1		退職積立金	360000	360000	0	
2		厚生費	300000	308715	△ 8715	
5		予備費	2752946		2752946	
		計	20674166	14903231	5770935	

昭和54年度 熊本市歯科医師会共済会歳入歳出決算書

収入額 3,237,770 支出額 1,070,000 残高 2,167,770

(才入の部)

費目 \ 区分	調定額	収入済額	未収入額	備考
共済会費負担金	1,848,000	1,848,000		
初回金	12,000	12,000		
利息	23,130	23,130		
前年度繰越金	1,354,640	1,354,640		
計	3,237,770	3,237,770		

(才出の部)

費目 \ 区分		
弔慰金	900,000	3名 故 奥田健治、故 宇治誠孝、 故 北原信英
傷病見舞金	80,000	4名 緒方義弘、大橋俊博、後藤俊一、 緒方益夫
弔慰金	40,000	2名 石浦節子先生御尊父様 寺脇 博先生御母堂様
花環代	50,000	
計	1,070,000	

昭和54年度

熊本市歯科医師会退職積立金歳入歳出決算書

収入額 928,309 支出済額 0 残高 928,309

(才入の部)

費目 \ 区分	調定額	収入済額	備考
54年度積立金	366,656	366,656	
利息	6,519	6,519	
前年度繰越金	555,134	555,134	
	928,309	928,309	

(才出の部)

費目 \ 区分	支出済額	備考
退職者なし	0	
	0	

剰余金処分計算書

1. 当期剰余金	<u>14,552,405</u>
2. 剰余金処分額	<u>6,000,000</u>
基本財産積立金	
3. 次期繰越金	<u>8,552,405</u>

昭和56年度 熊本市歯科医師会歳入歳出予算(案)

(才入の部)

款	項	費 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		会 費	13,685,698	11,909,797	1,775,901		
	1	均 等 割	2,106,000	2,039,000	67,000		一般 191名×10,000 終身 24名×4,000 親子 14名× 5,000 勤勞 6名×5,000
	2	保険診療負担金	7,579,698	6,870,797	708,901		
	3	入 会 金	4,000,000	3,000,000	1,000,000		入会金 10,000,000 × 4 名
2		寄 付 金	1,000	1,000			
3		過 年 度 会 費	16,053	0	16,053		
4		雑 収 入	7,059,459	5,422,391	1,637,068		
	1	預 金 利 子	483,044	117,915	365,129		利 息
	2	雑 入	6,576,415	5,304,476	1,271,939		簡易保険、朝日生命、日専連
5		前年度繰越金	4,738,581	5,312,495		573,914	
		計	25,500,791	22,645,683	6,841,991	573,914	

(才出の部)

款	項	費 目	本年度予算額	前年度予算額	比 較		備 考
					増	減	
1		事 業 費	8,934,880	8,410,000	524,880		
	1	学 術 費	1,750,000	1,750,000			学術講演会
	2	口 腔 衛 生 費	960,880	750,000	210,880		よい歯のコンクール、無料検診 フッソ塗布
	3	社 会 保 険 費	670,000	680,000		10,000	保険指導
	4	医 療 管 理 費	874,000	780,000	94,000		講演会
	5	広 報 費	1,950,000	1,800,000	150,000		会 誌
	6	厚 生 費	1,600,000	1,600,000			レクリエーション、バレーボール大会 懇親パーティー
	7	学 校 歯 科 費	780,000	700,000	80,000		児童ハプラン指導
	8	各 種 委 員 会 費	200,000	200,000			資格審議会
	9	医 政 費	150,000	150,000			
2		事 務 費	7,954,800	6,273,520	1,681,280		
	1	渉 外 費	930,000	650,000	280,000		
	2	俸 給	2,268,000	2,011,200	256,800		給 料
	3	諸 給 与	1,314,800	1,170,320	144,480		夏冬ボーナス、交通費、時間外手当
	4	旅 費	270,000	270,000			
	5	需 用 費	1,500,000	1,200,000	300,000		電話代、切手代、印刷、文具、茶 事務所借上料
	6	事 務 所 費	72,000	72,000			
	7	備 品 費	200,000	200,000			
	8	雑 費	1,400,000	700,000	700,000		熊本税理士嘱託料、県民税、広告料、 事務印
3		会 議 費	3,637,000	3,564,400	72,600		同年会旅費、代議員旅費、監査旅費、 タクシー代、支部契約金
4		職 員 厚 生 費	730,738	643,583	87,155		
	1	退職積立金	350,000	360,000			
	2	厚 生 費	370,738	283,583	87,155		健康保険、厚生年金、児童手当、 労働保険、福祉費
5		予 備 費	4,243,373	3,754,180	489,193		
		計	25,500,791	22,645,683	5,158,423	10,000	

**昭和56年度会費および負担金の賦課額・賦課率
並びにその賦課徴収方法**

科 目		年賦課額 賦課率	賦課方法	徴収方法	前年度の比較
会 費	均 等 割 (一 般)	10.000	5 回	4月, 5月, 6月, 7月, 8月 (2,000円)	変 ら ず
	" (終 身)	4.000	4 回	4月, 5月, 6月, 7月 (1,000円)	"
	" (親子・勤務)	5.000	5 回	4月, 5月, 6月, 7月, 8月 (1,000円)	"
	所 得 割	$\frac{1}{1,000}$	12 回	毎月(社保・国保 診療報酬)	"
入 会 金	一 般	1,000.000	1 回	入 会 の 都 度	変 ら ず
	親 子	1,000.000	1 回	入 会 の 都 度	"
共 済 会	初 回 金	2.000	1 回	入 会 の 都 度	変 ら ず
	負 担 金	2.000	死亡された月	死亡された都度	"

熊本市歯科医師会 財産(備品)目録

種 別	数 量	種 別	数 量
書 類 棚	6	電 話 機	1
書 類 立	4	冷 蔵 庫	1
事 務 用 机	2	ハ ガ キ 用 膳 写 機	1
" い す	2	チ エ ッ ク ラ イ タ ー	1
金 庫	1	え ん び つ 削 り	1
テ ー ブ ル (白)	4	掃 除 機 (手動)	1
会 議 用 い す	12	印 鑑	
応 接 セ ッ ト	1	書 籍	
ロ ッ カ ー 2 人 用	1	傘 立	
ツ イ タ テ	2	ス ト ー ブ	1
ラ ジ オ カ セ ッ ト	1	ワ イ ヤ レ ス マ イ ク	1
時 計	1	電 卓	2
オーバーヘッドプロジェクター	1	カ ッ タ ー	1
ビデオカセット VO 1720	1	カ メ ラ 一 式	
トリニロンカラーテレビ KV2050 M1	1		
扇 風 機	1		

昭和56年度 熊本市歯科医師会

会 長	川 崎 正	52 - 8008
副 会 長	吉 井 洋 一	53 - 6240
専 務 理 事	山 室 紀 雄	81 - 3412
常 務 理 事	宇 都 宮 啓 一	82 - 3419
理 事	添 島 義 和	54 - 5087
"	中 根 俊 吾	53 - 3041
"	木 村 豊	52 - 1488
"	椿 幸 雄	81 - 6561
"	菊 池 英 一	83 - 3512
監 事	杉 野 市 平	22 - 8052
"	小 堀 大 介	52 - 1959
東 部 1 支 部	坂 梨 常 太 郎	66 - 1811
" 2 "	堀 川 義 治	83 - 1827
" 3 "	堀 川 秀 一	81 - 5346
" 4 "	才 田 雅 英	68 - 5850
西 部 支 部	片 山 幹 夫	56 - 6955
南 部 "	柿 原 康 男	64 - 3812
北 部 1 支 部	彌 政 富 士 雄	22 - 3631
" 2 "	岩 本 義 人	43 - 0639
中 央 部 "	元 島 博 信	22 - 6465
川 尻 支 部	富 岡 浩 雄	57 - 9146
小 島 "	坂 元 一 夫	29 - 8902

委員会名	人 数	№	氏 名	T E L
口 腔 衛 生	9 名	1	中 根 俊 吾	53 - 3041
		2	関 剛 一	53 - 0212
		3	鈴 木 勝 志	52 - 3663
		4	松 本 一 之	83 - 6031
		5	坂 梨 常 太 郎	66 - 1811
		6	青 木 道 育	43 - 3437
		7	奥 村 敏 之	53 - 5448
		8	寺 脇 博 久	56 - 7778
		9	津 田 勝 久	52 - 1959
医 療 管 理	7 名	1	椿 幸 雄	81 - 6561
		2	片 山 幹 夫	56 - 6955
		3	才 田 雅 英	68 - 5850
		4	栗 原 幸 紘	53 - 6067
		5	緒 方 進	55 - 3513
		6	出 口 大 平	79 - 3633
		7	住 本 和 隆	52 - 5753
学 術	6 名	1	添 島 義 和	54 - 5087
		2	元 島 博 信	22 - 6465
		3	堀 川 秀 一	81 - 5346
		4	野 村 雄 幸	84 - 3066
		5	緒 方 義 昌	24 - 3315
		6	藤 波 剛	64 - 9025
厚 生	8 名	1	宇都宮 啓 一	82 - 3419
		2	浜 坂 浩 一 郎	66 - 9653
		3	富 岡 浩 雄	57 - 9146
		4	宇 治 道 孝	83 - 0333
		5	田 島 宗 穂	64 - 9692
		6	坂 元 和 彦	29 - 8902
		7	藤 波 剛 之	64 - 9025
		8	富 田 久 之	64 - 0938
広 報	8 名	1	菊 池 英 一	83 - 3512
		2	緒 方 進	55 - 3513
		3	坂 本 憲 昭	66 - 1358

委員会名	人数	№	氏名	TEL
		4	緒方孝則	44 - 9149
		5	伊東隆利	43 - 0377
		6	牧野敬美	52 - 5774
		7	元島博信	22 - 6465
		8	小田和人	67 - 3618
学校歯科	8名	1	木村豊	52 - 1488
		2	柿原康男	64 - 3812
		3	岡田知久	63 - 4871
		4	奥田良樹	82 - 2929
		5	合澤康生	65 - 3021
		6	斉藤健	44 - 8180
		7	緒方義昌	24 - 3315
		8	山村定信	43 - 3271
社会保険	5名	1	山室紀雄	81 - 3412
		2	杉野陽二郎	22 - 8052
		3	甲斐利博	84 - 1764
		4	中西一夫	67 - 7808
		5		
資格審議	4名	1	久保田三男	57 - 2421
		2	津野田寿	82 - 5927
		3	岩村泰行	82 - 3588
		4	西田健吉	38 - 8324
選挙管理	5名	1	伊東武嗣	43 - 0377
		2	松永正行	82 - 5187
		3	鶴田実馬	68 - 2319
		4	林田充成	52 - 9607
		5	林正之	52 - 2778
定款等諸規則 改正委員会	6名	1	河野好孝	57 - 9256
		2	堤直文	44 - 6067
		3	野村雄幸	84 - 3066
		4	林正之	52 - 2778
		5	元島博信	22 - 6465
		6	森永侃	52 - 5226

昭和56年度 市選出県代議員

№	代 議 員	№	予 備 代 議 員
1	川 崎 正	1	岩 本 義 人
2	吉 井 洋 一	2	彌 政 富 士 雄
3	山 室 紀 雄	3	関 剛 一
4	宇 都 宮 啓 一	4	緒 方 進
5	添 島 義 和	5	鈴 木 勝 志
6	椿 幸 雄	6	甲 斐 利 博
7	菊 池 英 一	7	宇 治 道 孝
8	坂 梨 常 太 郎	8	田 島 宗 穂
9	才 田 雅 英	9	浜 坂 浩 一 郎
10	片 山 幹 夫	10	永 田 博 久
11	堀 川 秀 一	11	斉 藤 健
12	坂 元 一 夫	12	添 島 正 和
13	富 岡 浩 雄	13	杉 野 陽 二 郎
14	堀 川 義 治	14	緒 方 義 昌
15	柿 原 康 男	15	伊 東 隆 利
16	元 島 博 信	16	牧 野 敬 美

昭和56年度	№	氏 名			
歯科医師国保 組合会議員	1	山	室	紀	雄
	2	坂	元	一	夫
	3	岩	本	義	人
	4	彌	政	富	士雄
	5	菊	池	英	一
	6	鈴	木	勝	志
	7	緒	方		進
熊本市選出 政治連盟評議員				予 備	
	1	宇都宮	啓一	中根	俊吾
	2	添島	義和	木村	豊
	3	堀川	義治	鈴木	勝志
	4	椿	幸雄	緒方	進
	5	彌政	富士雄		
	6	岩本	義人		
	7	富岡	浩雄		
	8	川崎	正		
国保健康保険 運営協議会委員	1	川崎 正			



新 入 会 員 紹 介



氏 名 藤 波 好 文 昭和23年6月6日生

自 宅 熊本市室園町3-35 (TEL) 45-7325

診療所 "

北熊本藤波歯科医院 (TEL) 45-7325

趣 味 旅 行

好きなことば

和

経 歴 昭和49年3月 神奈川歯科大学卒業

昭和49年4月 鹿児島大医学部歯科口腔外科入局

{ (現歯学部、第1口腔外科)

昭和55年12月 退 職

昭和56年1月～4月 伊藤歯科医院勤務

昭和56年5月 現在地にて開業

家族構成

藤 波 千鶴子 昭和30年1月1日 妻

" 由 香 昭和54年7月10日 長女



氏 名 杉 野 泰 彦 昭和21年8月19日生
 自 宅 熊本市京町2丁目12-27-202
 診療所 熊本市八景水谷1丁目31-17 (TEL) 25-7679
 趣 味 ゴルフ・マージャン
 経 歴
 昭和47年3月 福岡県立九州歯科大学卒業
 昭和51年3月 同大学院博士課程卒業
 昭和51年4月 福岡歯科大学第1補綴学教室助手
 昭和52年6月 " 講師
 昭和55年3月 同 退 職
 昭和55年4月 杉野歯科勤務

家族構成

杉 野 恵 子 妻 昭和26年6月27日
 輝 彦 長男 昭和51年1月11日
 慶 彦 次男 昭和52年11月11日
 範 彦 三男 昭和55年12月3日



氏 名 水 野 完 治 昭和27年7月6日
 自 宅 飽託郡北部町西梶尾474の2 (TEL) 09624-5-1490
 診療所 飽託郡北部町西梶尾474の2 (TEL) 09624-5-1491
 趣 味 上達しないゴルフ
 好きなことば
 努力
 経 歴
 昭和46年 熊本県立第二高等学校卒業
 昭和54年 九州歯科大学卒業
 昭和54年 川崎歯科勤務
 昭和55年 北部町歯科診療所



氏 名 永 野 忠 昭和26年5月4日
 自 宅 市内清水亀井町51-38 (TEL) 45-7244
 診療所 市内琴平町2-2-4 柿原歯科勤務(TEL) 64-3812
 趣 味 スポーツ(球技一般)
 好きなことば
 特になし

経 歴

昭和52年3月 九州大学歯学部卒業
 昭和52年4月 同大 第二保存入局
 昭和54年2月 同上 退局
 昭和54年3月 熊本赤十字病院入社
 昭和56年3月 同上 退社
 昭和56年4月 柿原歯科医院勤務

家族構成

永 野 長次郎 大正14年8月4日 父
 容 子 昭和3年6月15日 母
 智 子 昭和32年11月25日 妻
 亜 季 昭和55年10月14日



氏 名 蔵 田 幸 一 昭和26年7月26日
 自 宅 熊本市琴平本町10-12 (TEL) 71-1100
 診療所 熊本市本荘町720-1 (TEL) 72-2183
 趣 味 魚釣り
 経 歴

昭和45年 熊本県立済々黉高等学校卒業
 昭和52年 福岡県立九州歯科大学卒業
 柿原歯科医院勤務
 昭和56年2月 開業

家族構成

蔵 田 芳 春 大正13年2月16日 父
 秋 江 昭和2年9月20日 母
 美智子 昭和27年10月6日 妻
 芳 江 昭和31年8月7日 妹

— 編 集 後 記 —

今年は夏らしい暑い日が毎日続いておりますが、皆様方におかれましてはお変わりございませんでしょうか。

御寄稿頂きました方々には、厚く御礼申し上げます。少しでも多くの先生方に会誌をお読み頂く様にと、広報委員一同努力致しております。どうぞ今後共御協力下さいます様お願い申し上げます。

広報委員会

熊本市歯科医師会会誌

第 37 号

発行日 昭和56年8月8日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (43) 6669

発行者 川崎正士

印刷所 株式会社 太陽社

熊本市新大江2丁目5-18

TEL (66) 1251